

校長及び教員としての資質の向上に関する指標

(4) 栄養教諭に必要な事項（専門領域）

ライフステージ		教職着任時	第1ステージ	第2ステージ	第3ステージ	第4ステージ	
			初任～教職経験5年次	教職経験6年次～10年次	教職経験11年次～20年次	教職経験21年次以降	
資質・能力 にかかる項目		栄養教諭として求められる基礎的な知識や技能を身につけている。	基礎形成期	伸長期	充実期	発展期	
			実践力を磨き、基礎・基盤を固める。	知識や経験に基づいた実践力を高める。	多様な知識と経験に基づいた実践を展開するとともに、若手教員の指導を行い、学校の中核的役割を担う。	高い専門性と豊かな経験を持ち、高度な実践を展開するとともに、指導力を発揮し、学校づくりや教育活動をリードする。	
栄養教諭に必要な事項 (専門領域)	給食管理	栄養管理（献立作成）	○学校給食摂取基準を理解し、栄養管理、献立作成に関する基礎的な知識・技能を有している。	○学校給食摂取基準に基づき、食事状況調査、嗜好調査、残食量調査等の結果をふまえた献立を作成することができる。	○学校給食摂取基準に基づく栄養管理に加え、郷土食、地場産物を取り入れ、各教科等の食に関する指導と関連させながら、献立を作成することができる。	○栄養教諭の専門性を生かして、児童生徒の身体状況を考慮し、地域性に応じた献立作成及び栄養管理を行うことができる。	○栄養管理や献立作成に関して、他の栄養教諭を支援するなど、地域においても指導的役割を担うことができる。
		衛生管理	○学校給食衛生管理基準を理解し、衛生管理に関する基礎的な知識・技能を有している。	○学校給食衛生管理基準に基づき、日常的に施設設備、食品を管理するとともに、調理従事者と連携し適切な衛生管理のための指導・助言を行うことができる。	○学校給食衛生管理基準についての理解を深め、日常的な衛生管理に加えて、学校給食の衛生管理について教職員に対して適切な指導・助言を行うことができる。	○衛生管理に関する高い専門性を身につけ、日常的に適切な衛生管理を行うとともに、食品納入業者等、地域の学校給食関係者に対しても必要な指導・助言を行うことができる。	○学校給食における衛生管理に関して、他の栄養教諭を支援するなど、地域においても指導的役割を担うことができる。
	食に関する指導	給食の時間の指導	○給食の時間における食に関する指導について、基礎的な知識・技能を有している。	○給食の時間における食に関する指導のための資料を学級担任に提供し、連携して児童生徒への指導を行うことができる。	○給食と教科等との関連を考慮し、学級担任が年間をとおして食に関する指導が行えるよう支援するとともに、連携して児童生徒への指導を行うことができる。	○学級担任が献立計画を活用し、教科等と関連させた食に関する指導を継続的に行えるよう支援するとともに、食に関する年間指導計画を中心となって策定することができる。	○学級担任が献立計画や食に関する年間指導計画に基づいて、教科等と関連させた指導を継続的・効果的に行うための指導・助言を行うことができる。
		教科等における指導	○教科等における食に関する指導について、基礎的な知識・技能を有している。	○学級担任と連携し、栄養教諭の専門性を生かした児童生徒への指導を行うことができる。	○学校教育目標や地域性をふまえ、栄養教諭の専門性を活かして、家庭、地域と連携した食育を推進することができる。	○栄養教諭の専門性を生かし、食育推進のために教職員や地域など校内外の連携・調整の要としての役割を担うことができる。	○地域において、校種毎の学習内容に応じた系統的な食育を推進するため、中心となって連携・調整を行うとともに、他の栄養教諭に対し、指導・助言を行うことができる。
		個別的な相談指導	○カウンセリングマインドを持って、児童生徒の食に関して個別的な相談を行うことの重要性を理解している。	○食に関する健康課題や相談指導に必要なエビデンスについての最新情報の収集に努め、児童生徒の課題を的確につかみ、医療機関等と連携を図りながら教職員とともに、児童生徒に対する指導・助言や家庭への支援や働きかけを行うことができる。	○児童生徒の食に関する健康課題を総合的に判断し、児童生徒の課題に応じて養護教諭や医療機関等と連携を図りながら指導・助言をするとともに、栄養教諭の専門性を生かして教職員に対しても指導的役割を担うことができる。		